

## 受動喫煙に警告

### ～幼小児期からの防煙を～

沖縄県禁煙協議会の設置の目的は、肺がんをはじめとする各種がん、心臓病、呼吸器疾患等の危険因子となっている喫煙に伴う健康障害を減らすために、少年期における喫煙開始の予防（防煙）と非喫煙者の受動喫煙防止（分煙）を図るとともに、喫煙者の禁煙支援を推進することにより県民の健康増進を図ることにある。

8月12日に開催された平成28年度・沖縄県禁煙協議会総会において、各分野からの活動報告があり、今後の展望につき活発な議論が行われた。

時を同じくして「受動喫煙で肺がん1.3倍」と題する国立がんセンターの論文解析結果が公表され、肺がんに対する受動喫煙のリスク評価が従来の「ほぼ確実」から「確実」に格上げされたとの新聞報道がなされた。

沖縄では、居酒屋等で幼小児を含む家族連れが、タバコの煙が渦巻く中で食事をしている光景を目にする。喫煙、そして受動喫煙が終生にわたって健康を害することを、小児保健協会代表の安次嶺馨理事が「ライフサイクルから見たタバコの害」と題する図を用いて警告を発した。

タバコの影響は、妊婦の喫煙、受動喫煙により、胎児の流産・早産の原因となり、低体重児出産の頻度が増し、乳幼児の突然死症候群の誘因になる。学童期には肥満、注意欠陥・多動性障害、成長障害をきたし、思春期には暴力・問題行動に関連し、成人になり悪性腫瘍の発生をみることになる。その後も肺気腫や生活習慣病とその後遺症に悩まされ、結果として早逝、長寿の恵みに預かることはない。

宮里達也県医師会常任理事から禁煙外来に関する情報提供、山川宗貞福祉保健部健康長寿課課長からタバコの害に関する教材や各種パンフレットの作成、職場の敷地内全面禁煙の推進についての報告があり、国立病院機構沖縄病院の川畑勉院長から肺がんに関する最近の話題の提供があった。

当協議会顧問で京都大学大学院の高橋裕子教授から、最近の学童期の喫煙状況、幼小児からの禁煙教育の必要性と親の責任についての講話があり、沖縄県の禁煙推進の運動が全国のモデルとなるよう激励の言葉で結ばれた。

当協議会事務局から発した県内各地域の主要道路の「路上喫煙禁止区域の設定」への呼びかけに呼応して、西原町の坂田ハイツ自治会が自治会館敷地内とメインストリートの喫煙禁止区域の設定を決議した。生活習慣を改めるための「意識づけ」のために、この運動が全県下に展開されることを期待したい。

# 論壇

2016年度沖縄県禁煙協議会総会で各分野からの活動報告があり、今後の目標につき活発な議論が行われました。

時を同じくして「受動喫煙で肺がん1.3倍」と題する国立がんセンターの論文解析結果が公表され、肺がんに対する受動喫煙のリスク評価が従来の「ほぼ



石川 清司

「ほぼ確実」から「確実」に格上げされた」と新聞報道がありました。

県禁煙協議会の設置の目的は、肺がんをはじめとする各種がん、心臓病、呼吸器疾患等の危険因子となっている喫煙に伴う健康被害を減らすために、少年期における喫煙開始の予防

(防煙)と非喫煙者の受動喫煙防止(分煙)を図ることも、喫煙者の禁煙支援を推進し、国民の健康増進を図ることにあります。

総会では首里連世襲医師会常任理事から禁煙外来に関する情報提供、山川宗真福祉保健部長兼長寿課課長からたばこの害に

の禁煙教育の必要性と親の責任について講話し、沖縄県の禁煙推進の運動が全国の手本となるよう激励されました。

沖縄では、居酒屋等で幼小児を呼び家族連れが、たばこの煙が渦巻く中で食事をしている光景を目にします。喫煙、そして受動喫煙が終生にわたって健康

## 禁煙運動の広がり期待

### 小児・妊婦守り長寿県へ

関する教材や各種パンフレットの作成、職場の敷地内全面禁煙の推進についての報告があり、国立病院機構沖縄病院の川畑勉院長から肺がんに関する最近の話題の提供がありました。

当協議会顧問の京都大学大学院の高橋裕子教授は、最近の学童期の喫煙状況、幼小児期から

を害することや、小児保健協会代表の安次重信理事が「ライフサイクルから見たたばこの害」と題する図を用いて警告を發しました。

たばこの影響は、妊婦の喫煙、受動喫煙により、胎児の流産・早産の原因となり、低体重児出産の頻度が増し、乳幼児の突然

死症候群の誘因にもなります。

学童期には成長障害をきたし、思春期には暴力・問題行動に関連し、成人になりがんの発生をみることとなります。その後も肺気腫や生活習慣病とその後遺症に悩まされ、結果として早世し、長寿の夢みにあずかることはありません。

禁煙協議会事務局から発した県内各地域の主要道路の「路上喫煙禁止区域の設定」への呼び掛けに呼応して、西原町の坂田ハイツ自治会が自治会館敷地内とメインストリートの喫煙禁止区域の設定を決議しました。生活習慣を改めるための「意識づけ」のために、この運動が全県内に展開されることを期待したいと思えます。

(名護市、沖縄県禁煙協議会会長、介護老人保健施設「あけみおの里」施設長、67歳)